



2026 年 7 月 15 日

各 位

会社名 ASAHI EITO ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 星 野 和 也
グループ CEO
(コード 5341 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 経営管理部長 三 宅 久 史
TEL (06)7777-2067

第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 1 月 19 日に公表いたしました 2026 年 11 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想と実績との間に差異が生じましたので、お知らせいたします。また、2026 年 11 月期通期連結業績予想について下記の通り修正いたします。

記

1. 2026 年 11 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想と実績との乖離(2025 年 12 月 1 日～2026 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,500	百万円 △50	百万円 △45	百万円 △55	円 銭 (注) △7.44
今回発表実績 (B)	2,095	△79	△78	△98	△12.78
増減額 (B-A)	△404	△29	△33	△43	△5.34
増減率 (%)	△16.2	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期 実績 (2025 年 11 月期 第 2 四半期)	2,203	△129	△123	△140	△24.55

(注) 1 株当たり中間純利益につきましては、2026 年 4 月 10 日に発表したものとなっております。
(第 1 四半期末時点の発行済株式数を踏まえて計算されたものです。)

2. 第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績との乖離理由

売上高につきましては、商業施設管理事業や前連結会計年度より取組みを開始した就労支援事業が堅調に推移した一方で、不動産事業が低調に終わったこともあり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。また、コスト面では各種収益改善の取組みをしたことにより粗利率の増加及び経費削減の成果を出せましたが、売上高が伸び悩んだ影響により黒字化を達成するまでには至りませんでした。引き続き、希ガス事業及び暗号資産の流動性提供事業の拡大を中心とした新たな収益源の確立に注力するとともに、コスト面の改善にも積極的に取組み、収益改善を図ってまいります。

3. 2026 年 11 月期連結業績予想の修正(2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 0	百万円 5	百万円 △20	円 銭 △2.37
今回発表予想 (B)	4,200	△130	△135	△160	△18.89
増減額 (B-A)	△1,600	△130	△140	△140	△16.52
増減率 (%)	△27.6	—	—	—	—
(ご参考) 2025 年 11 月期 実績	4,336	△272	△286	△340	△57.39

4. 今後の見通し

2026 年 11 月期の通期連結業績予想については、2026 年 11 月期第 2 四半期（中間期）の実績に当初計画をした下期の業績予想について現在の状況にあわせた見直しを行い作成しております。

今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示し、お知らせさせていただきます。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上